

会場

KFC Hall & Rooms  
Room 115 (両国)

ZOOM Webinar  
(オンライン)

特別シンポジウム  
歯周病の新分類  
「侵襲性」はどこへ行った？

2020 年 11 月 22 日 (日) 12:30～15:30

KFC Hall & Rooms 11F Room115 (東京・両国) および オンライン (Zoom ウェビナー)

東京都墨田区横網 1-6-1 国際ファッションセンタービル (<https://www.tokyo-kfc.co.jp/>)

抄 録



The Japan Health Care Dental Association  
一般社団 日本ヘルスケア歯科学会

## プログラム

12:30～

オープニング（オンライン参加者への説明など）

12:35～

新型コロナウイルス感染症禍と今後の展望

杉山 精一（日本ヘルスケア歯科学会 代表）

12:50～

問題提起 歯周病の新分類—どう変わる？ どう活かす？

杉山精一

13:05～

講演1 歯周病の新分類の臨床的意義

関野 愉（日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 准教授）

13:55～ 休憩 10 分 チャレンジャー賞等表彰

14:05～

講演2 新分類のグレードを分けるバイオマーカーを探る

久保庭 雅恵（大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座予防歯科学分野 准教授）

14:55～ 休憩 5 分

15:00～

質疑（オンライン参加含む）

15:30 終了

※休憩時は会場内の換気にご協力ください

12:35～13:05

## 新型コロナウイルス感染症禍と今後の展望



杉山 精一

日本ヘルスケア歯科学会代表 八千代市開業

進行の早い歯周炎に遭遇することがあります。早期に発見して治療、メンテナンスできればと思いますが、原因はよくわかっていません。新分類では、侵襲性歯周炎という名称がなくなっていました。今後、どのように考えて対応すればいいのでしょうか。歯周病研究の現状を整理して理解し、最新の研究成果を勉強する機会としましょう。

---

13:05～13:55 講演 1

## 歯周病新分類の臨床的意義



関野 愉

日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 准教授

近年、歯周病の国際分類から急速破壊性（侵襲型）歯周炎がなくなり、Stage と Grade による分類が適用されるようになっていく。その背景には、現在までに積み重ねられてきた研究において、病態生理学的に慢性歯周炎との間に違いがあると言える根拠が十分になかったことが挙げられる。また、それ特有の治療法のプロトコールが確立されなかったことも関係している。しかし、「違いがあるとえる根拠がない」ことは「同じである」と同義語ではない。言い換えれば「完全に異なる疾患である」という根拠もない」とも受け取れる。

日常的に遭遇する典型的な歯周炎とは明らかに異なった特徴を持つ患者の存在は多くの臨床医が経験しているところであり、おそらく Grade C の条件の一つである「バイオフィルムの沈着量から予測されるよりも重度な組織破壊」の部分に集約されている。これが今後どのように解釈されていくのか、注目していきたい。また、この新分類に関して、疑問点も多々あり、日々議論が繰り返されている。

そんな中で、現在ヨーロッパ歯周病学会（EFP）では、各種の歯周治療の現在までのエビデンスがポジションペーパーとしてまとめられ、新分類に対応した治療法のガイドラインが制作されているところであり、この解説も含めて新分類の意義について論じていきたい。

---

14:05～14:55 講演 2

## 新分類のグレードを分けるバイオマーカーを探る



久保庭 雅恵

大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座予防歯科学分野 准教授

メタボローム解析は、既知の情報からは想定できなかったことを、代謝産物のレベルで網羅的に探索する手法であり、疾病の診断や重症度評価に直結する新規バイオマーカーを探索する上で、現在望みうる最高の解析手法の一つである。

我々が研究対象としている歯周病では、歯周組織と、そこに近接して存在する歯肉縁下細菌叢よりなる歯肉縁下生物共同体（コンソーシアム）において、疾患重篤度の変化に伴う酵素活性の変動が起こり、歯周病特有の代謝物のパターン（メタボロームプロファイル）へと変化し、それが唾液や血液にも反映することが予想される。そこで、歯周病の病態を定量的に表現し得る Periodontal Inflamed Surface Area（PISA）を目的変数とし、唾液を試料としたメタボロミクスを実施することにより、歯周病に由来する炎症の予測モデルの構築を試みた。その結果、歯周病患者のバイオフィルム中ではポリアミン代謝経路が活性化し、カダベリンやプトレッシンなど複数のポリアミン類が高頻度にバイオフィルムから唾液中へと放出されていることが明らかとなった。

本シンポジウムでは、我々の研究グループによるメタボロミクス研究のみならず、ゲノミクス、プロテオミクスも含めたオミクス研究全般について概説し、歯周病の進行に関わる因子に関する最新の知見を紹介させていただく。

## Infomation

日本ヘルスケア歯科学会は禁煙宣言しております。会場内はすべて禁煙です。ご協力ください。  
会場内では、携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定ください。会場内の通話はご遠慮ください。  
ビデオ撮影、録音、写真撮影はご遠慮ください。  
ゴミは、各自でお持ち帰りください。



### ☆ 新型コロナウイルス感染拡大予防対策

新型コロナウイルスなどの感染症予防および拡散防止，参加者ならびにスタッフの健康と安全確保を最優先し以下の対応を徹底します。

- ・会場内ではマスクを着用のうえ，大声での会話はお控えください。また咳エチケットにご協力ください。
- ・アルコールでの手指消毒にご協力ください。
- ・入室時に非接触機器を活用した検温の実施にご協力ください。
- ・37.5 度以上の発熱の方に対してはご入場制限をいたします。
- ・会場内では三密防止対策にご協力ください。
- ・ご来場中の方で感染の疑いがある場合は事務局までご連絡ください。
- ・万が一の場合，来場者への後日情報提供ができるように，予めご連絡先を把握しておりますが，ご自身でも接触確認アプリ『COCOA』の事前インストールを推奨します。



ソーシャル  
ディスタンスの確保



消毒液の設置



非接触型機器での  
検温



マスク着用の徹底



定期的な外気の  
循環喚起



備品類の定期的な  
消毒

### 参加アンケートについて



感染拡大防止のため，参加者アンケートは Web にて行います。  
左の QR コード (<https://forms.gle/gAijYhzAXRcNTNTTA>) より Web フォームにてご回答ください。  
ご協力よろしくお願いします。  
締切：12 月 5 日（土）

随時 配信更新中！

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会事務局

〒112-0014 東京都文京区関口 1-45-15-104

FAX : 03-3260-4906 TEL : 03-5227-3716

<http://www.healthcare.gr.jp> e-mail: [center@healthcare.gr.jp](mailto:center@healthcare.gr.jp)

